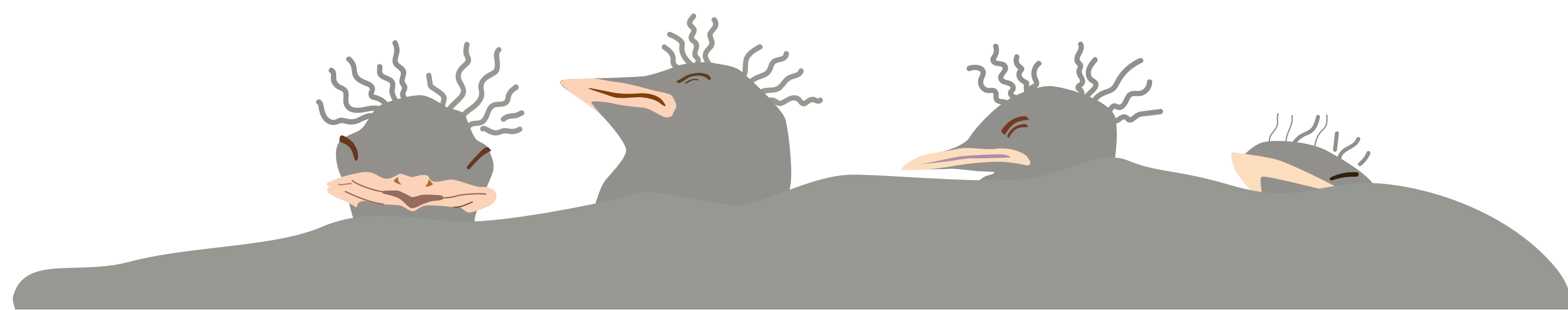


大島・新島・式根島・三宅島のツバメの巣の数

重原美智子



はじめに

私は小笠原諸島や伊豆諸島の島々を経由して飛来するツバメ（*Hirundo rustica*）の生態を島民の方達と協力して調べている。これまでの調査で、南に位置する島ほど春の初認日は早く、現在の伊豆諸島では主に三宅島以北の島で繁殖をしていることがわかった。小笠原諸島ではツバメの繁殖の記録はない。

調査の方法

事前調査を行った後、7月から8月上旬にかけて4島を訪問し、地元の協力者とともに可能な限り街の中で巣を探し、聞き取り調査もおこなった。見つけた巣は、巣の利用状況に応じて右の例のようにA、B、Cの3つのタイプに分類した。

Aタイプ
利用された巣



親やヒナがいなくても聞き取り調査で繁殖が確認された場合や、フンが落ちていれば2022年に利用された巣とした。

Bタイプ
不明だった巣



巣の形をしているが、2022年の繁殖期に、利用したのかわかっていたものでは不明だった巣。

Cタイプ
古巣



明らかに2022年に使用されていない巣。巣の跡だけが残っているものや、壊れているものを含む。

調査の目的

太平洋に連なっている島々という環境で繁殖をしているツバメの生態はあきらかになっていない。どのくらいの数のツバメが繁殖しているのかを知るための基礎となる調査を目指した。2021年は、利島、神津島、三宅島の3島を調べたので、2022年は大島、新島、式根島、三宅島の4島のツバメの巣の数を調べようと考えた。

結果

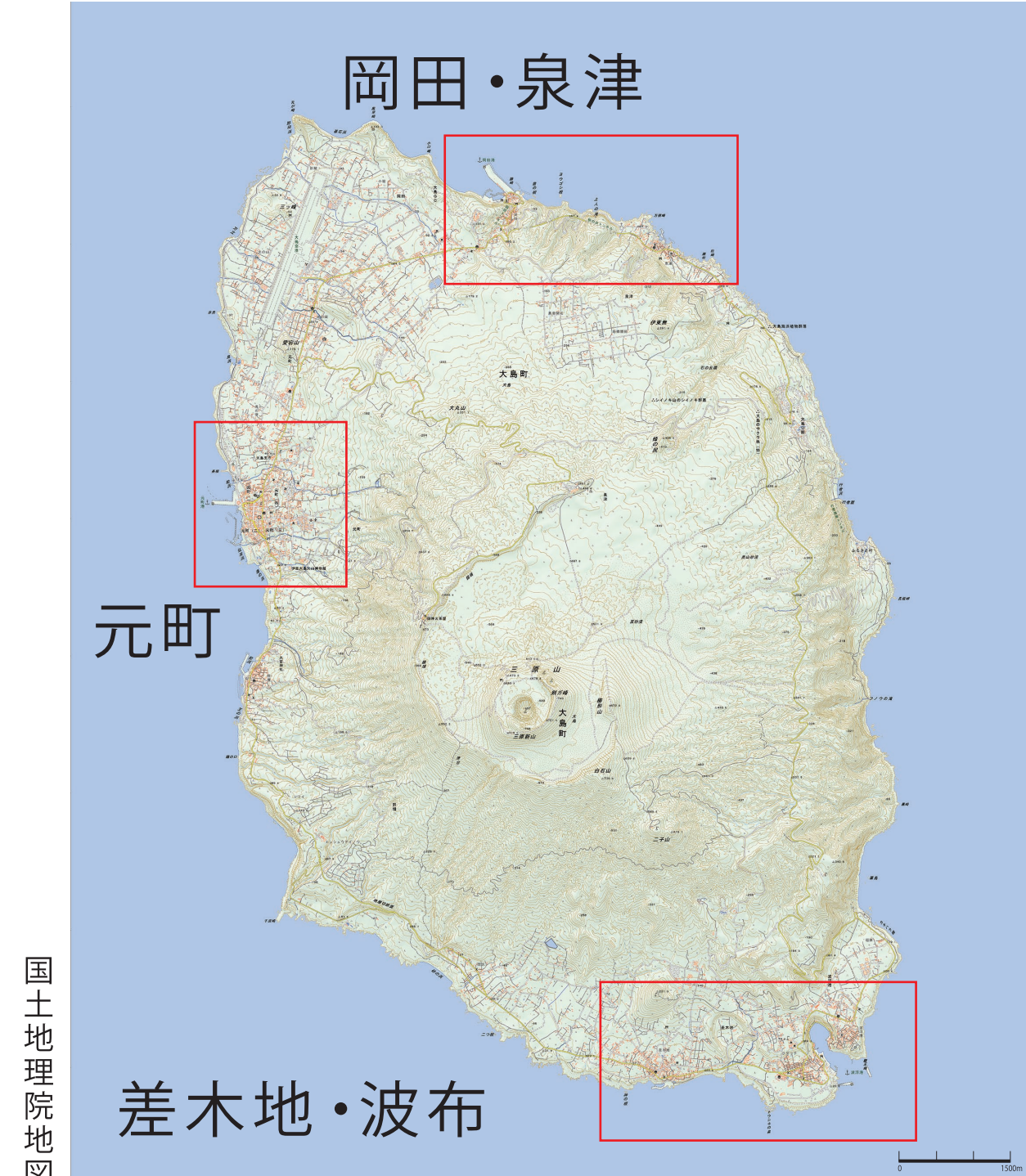
4島全てで、2022年に利用されたAタイプの巣は、121巣だった。一つの巣から1回の繁殖で4羽が巣立ったとすると、484羽、2回繁殖したとすると968羽のツバメが生まれたと考えられる。

4島のツバメの巣の数

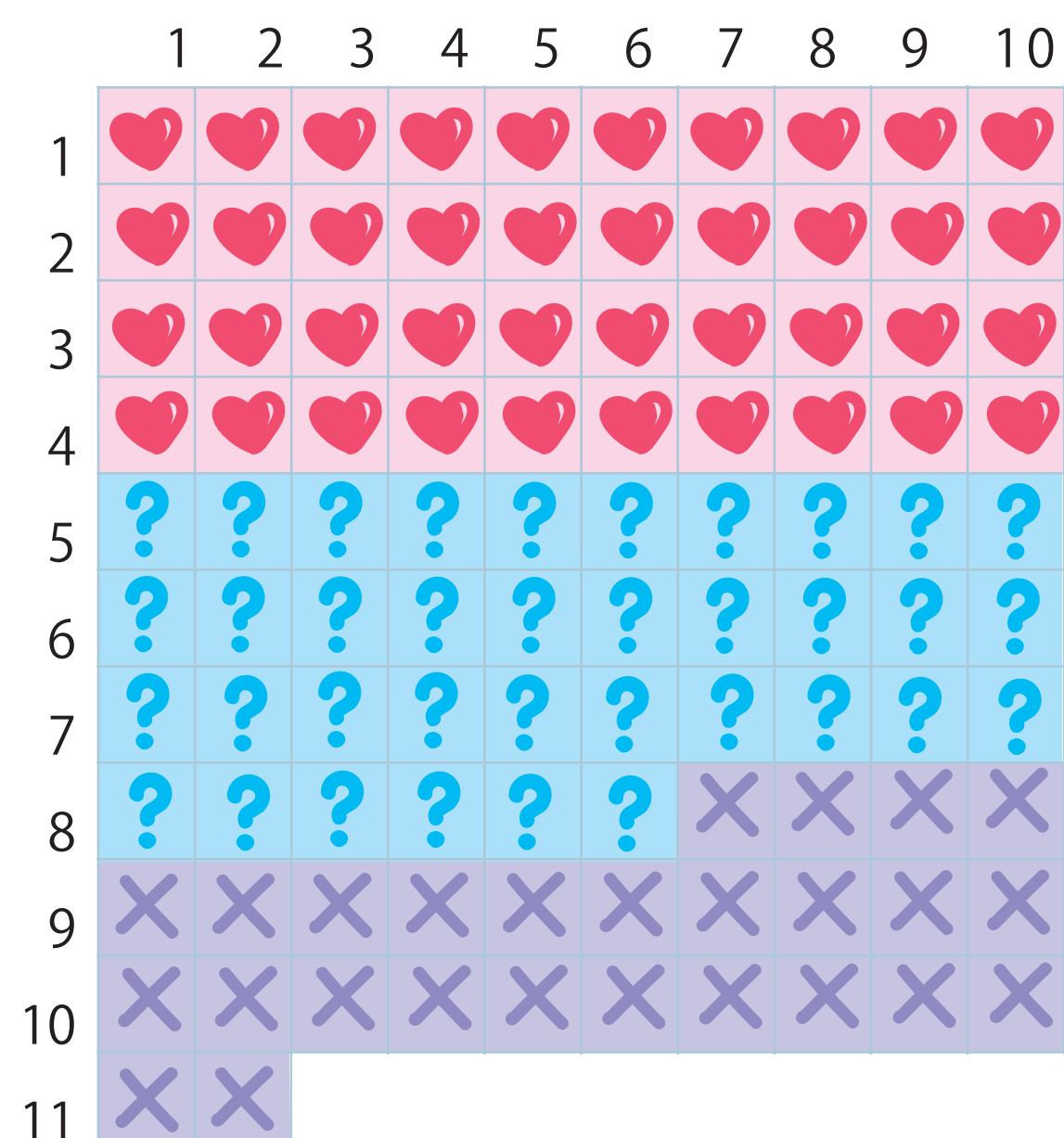
Aタイプ	121巣
Bタイプ	91巣
Cタイプ	84巣
4島全ての合計	296巣

大島

面積 90.76 km² 人口 7,704人 東京からの距離 約110 km

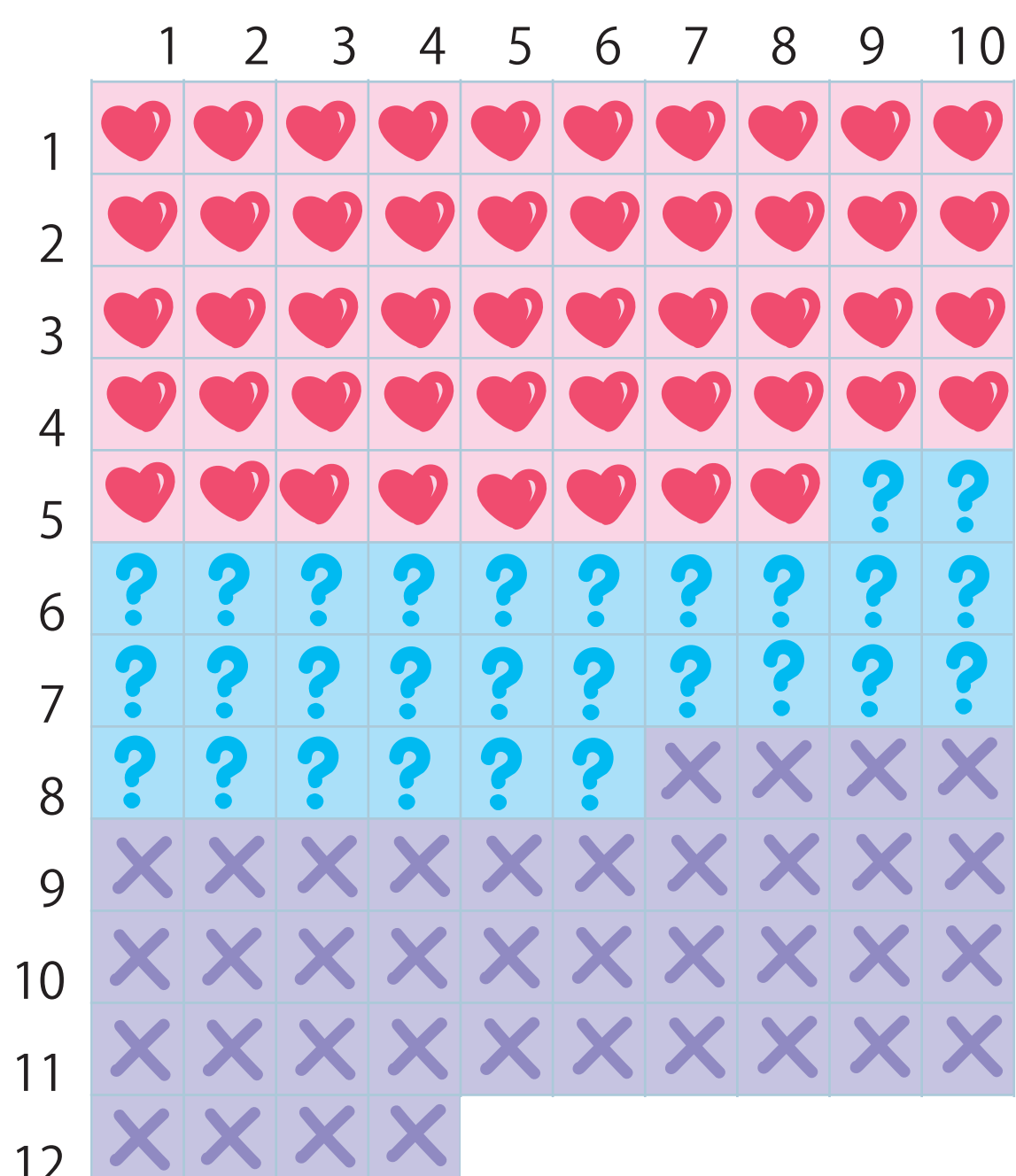
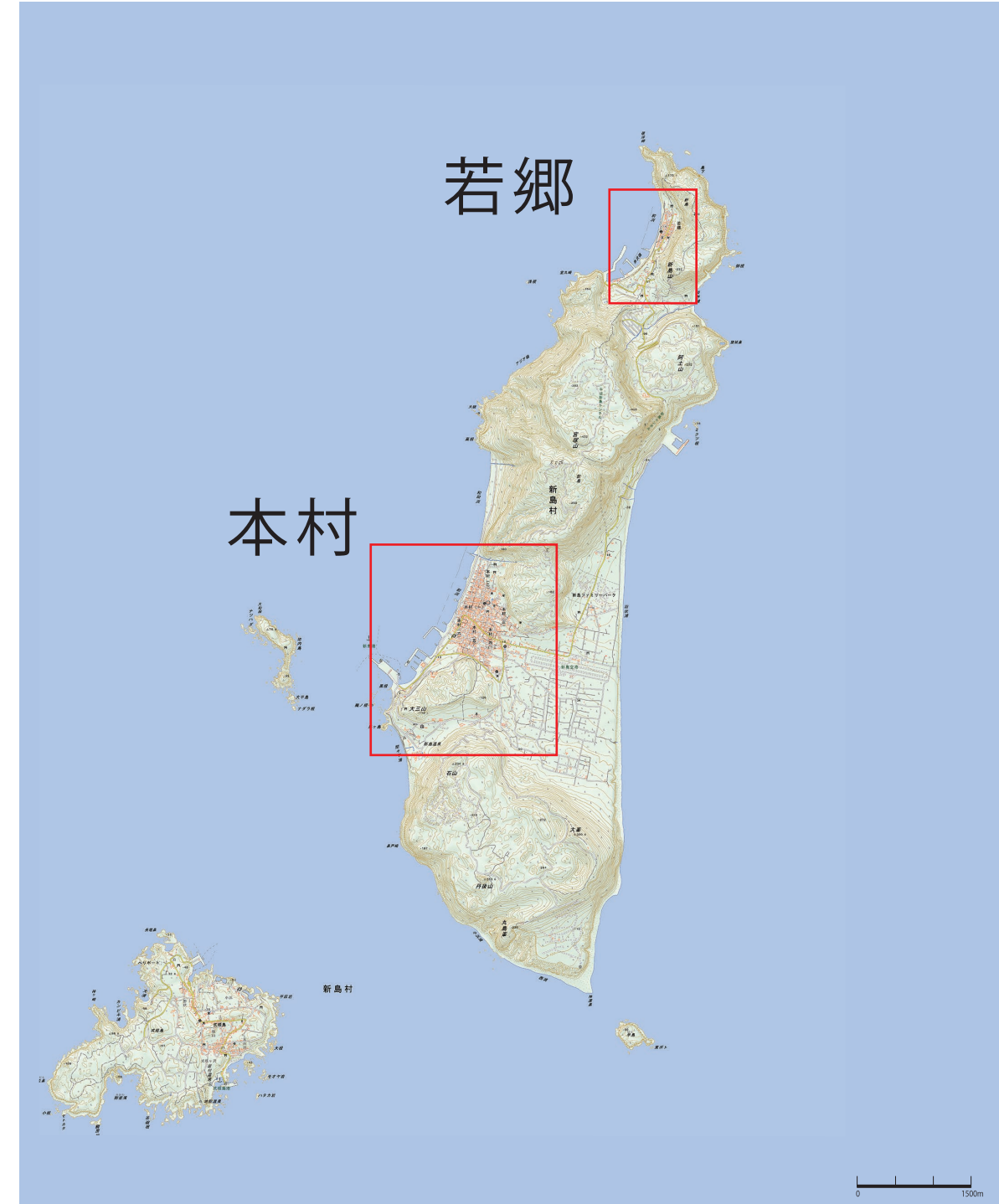


国土地理院地図



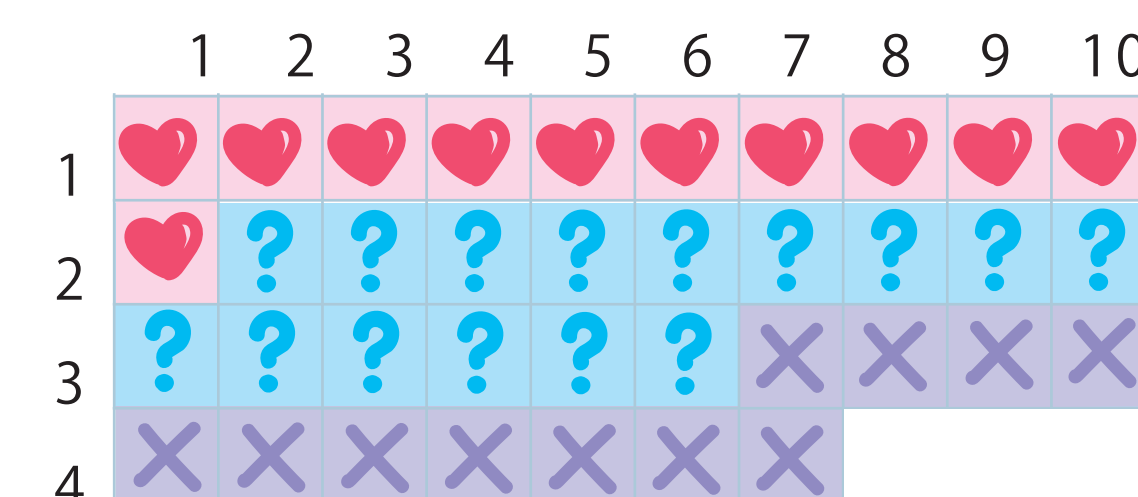
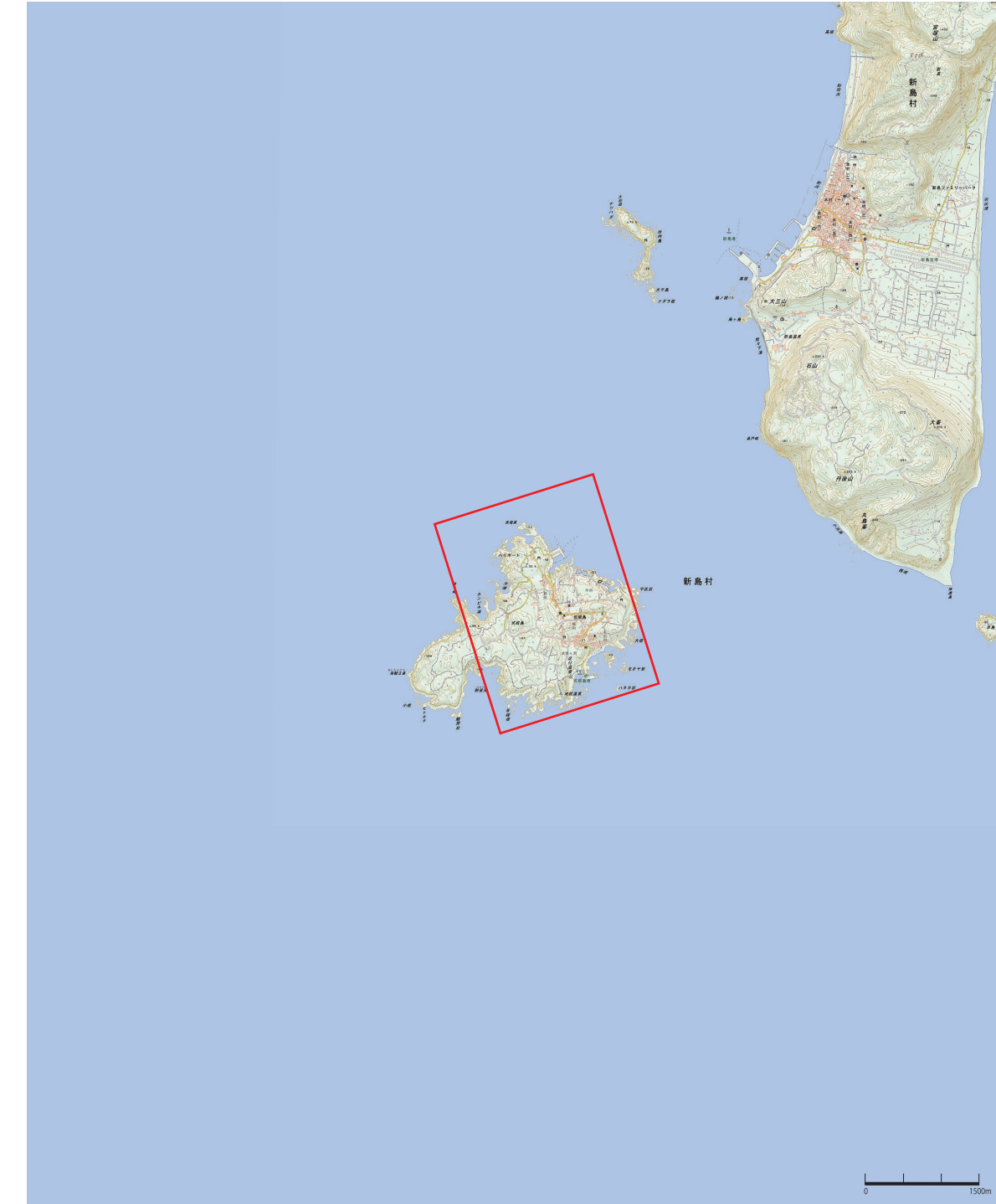
新島

面積 22.96 km² 人口 2,021人 東京からの距離 約150 km



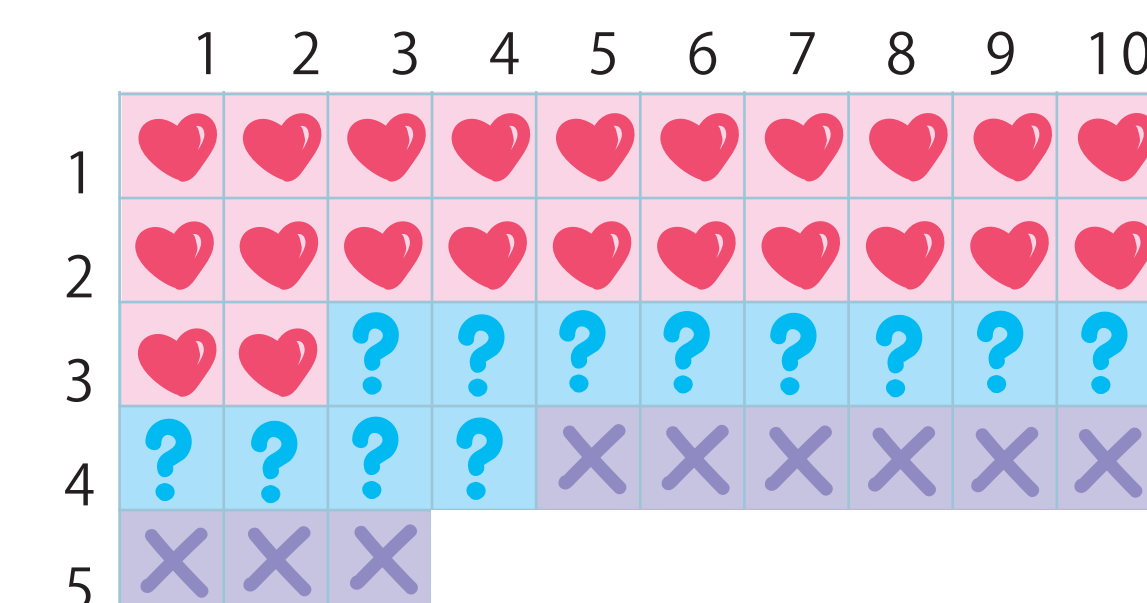
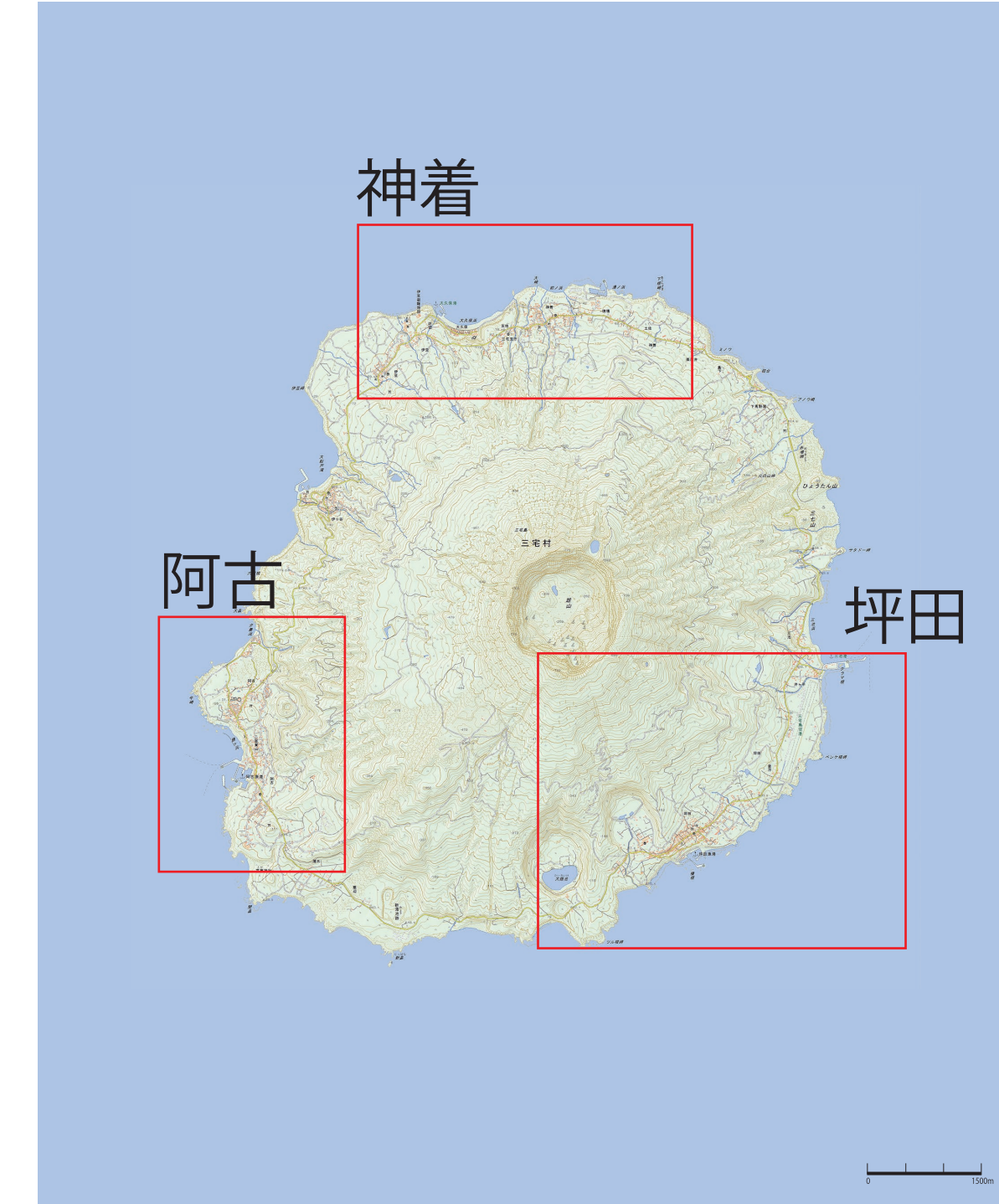
式根島

面積約 3.67 km² 人口 480人 東京からの距離 約160 km



三宅島

面積約 55.27 km² 人口 2,255人 東京からの距離 約180 km



集中して、調査をおこなった地域



大島のツバメの巣の数

Aタイプ	40巣
Bタイプ	36巣
Cタイプ	26巣
合計	102巣

新島のツバメの巣の数

Aタイプ	48巣
Bタイプ	28巣
Cタイプ	38巣
合計	114巣

式根島のツバメの巣の数

Aタイプ	11巣
Bタイプ	15巣
Cタイプ	11巣
合計	37巣

三宅島のツバメの巣の数

Aタイプ	22巣
Bタイプ	12巣
Cタイプ	9巣
合計	43巣